# 令和7年4月1日付け 人事異動の概要

令和7年3月19日



高知県総務部人事課

# 1 異動の規模 等

#### (1) 異動規模(知事部局)

異動内容

うち実質異動

1 · 2 等級昇任

うち1等級

うち2等級

新規採用職員

再任用職員

うち事務

うち技術

うち事務

うち技術

うち技能

うち再任用

退職者(R7.3.31)

異動総数

(単位:人)

△ 72

△ 83

△ 24

 $\triangle$  12

△ 12

10

20

10

11

16

△ 2

 $\triangle$  3

△ 46

15

 $\triangle$ 

増減

### (2) 昇任の状況 (知事部局)

(単位:人)

	事務	(うち男性)	(うち女性)	技術	(うち男性)	(うち女性)	計
1等級	8	6	2	3	3	0	11
2 等級	16	11	5	24	19	5	40
3等級	48	24	24	48	29	19	96
計	72	41	31	75	51	24	147

ノ弁夫	R6年度昇仟の状況(知事部局)>	
く変石	K b 年没 弃什(少)状况(知事部)向 )>	

(単位:人)

	事務	(うち男性)	(うち女性)	技術	(うち男性)	(うち女性)	計
1等級	16	11	5	7	7	0	23
2 等級	26	15	11	26	25	1	52
3等級	48	29	19	39	26	13	87
計	90	55	35	72	58	14	162

R7.4.1

1,551

1,414

51

11

40

176

115

61

171

102

63

321

156

6

R6.4.1

1,623

1,497

75

23

52

166

95

71

160

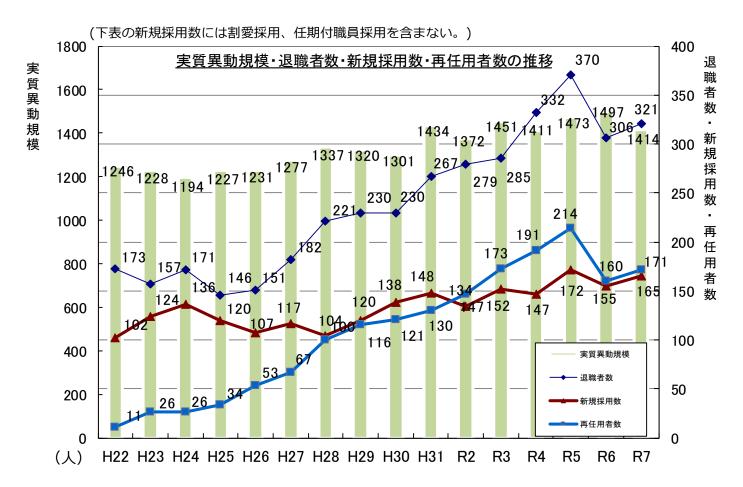
86

65

306

202

9



## (3) 令和7年度 庁議・政策調整会議メンバー【 別紙参照】

<sup>※</sup> 新規採用職員には、国等からの割愛採用10人と任期付職員1人を含む 退職者のうち定年退職者は60人

# 2 組織改正の概要

(1)組織改正の基本的な考え方等

## 〈基本的な考え方〉

戦略的に人口減少対策を推進するとともに、目指すべき高知県像「いきいきと仕事ができる高知」、「いきいきと生活ができる高知」、「安全・安心な高知」の実現とデジタル化、グリーン化、グローバル化の視点での各種施策の充実・展開を図る体制を強化

・「令和7年度の組織改正等による体制強化の概要」については、別添資料を参照

## (2) 知事部局の行政組織数の増減

区分	部局数	所 属 数					
	마가마女	課	出先機関	計			
R 6年度	14	87	61	148			
R 7年度	14	88	61	149			
増減	0	1	0	1			

## (3) ポスト数の増減(知事部局/派遣職員を含む)

(単位:人)

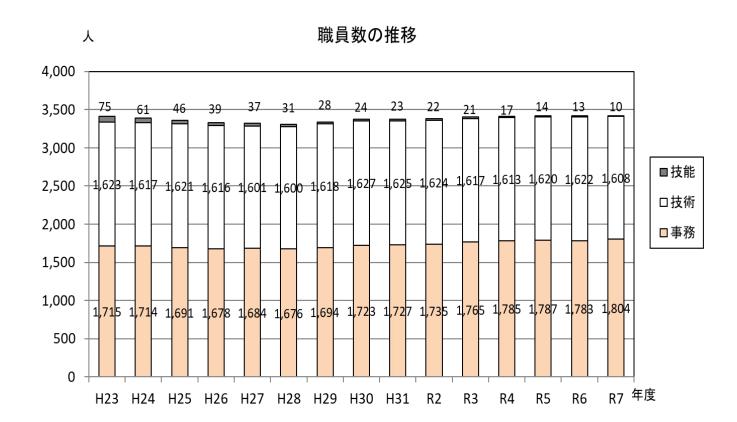
		R6.4.1			R7.4.1			増減		
		事務	技術	計	事務	技術	計	事務	技術	計
	本庁(部長、副部長等)	51	16	67	51	15	66	0	Δ1	Δ1
1等級	出先機関(所長等)	9	6	15	9	7	16	0	1	1
	計	60	22	82	60	22	82	0	0	0
	本庁(課室長等)	83	39	122	81	41	122	Δ2	2	0
2等級	出先機関(所長等)	33	52	85	32	56	88	Δ1	4	3
	計	116	91	207	113	97	210	Δ3	6	3
	本庁(課室長補佐等)	148	52	200	145	50	195	Δ3	Δ2	Δ5
3 等級	出先機関(次長等)	34	53	87	34	51	85	0	Δ2	Δ2
	計	182	105	287	179	101	280	Δ3	Δ4	Δ7
	本庁(チーフ等)	202	133	335	203	132	335	1	Δ1	0
3 等級	出先機関(課長、チーフ等)	126	340	466	128	341	469	2	1	3
	計	328	473	801	331	473	804	3	0	3
	本庁	484	240	724	480	238	718	Δ4	Δ2	Δ6
合計	出先機関	202	451	653	203	455	658	1	4	5
	計	686	691	1377	683	693	1376	Δ3	2	Δ1

## (4) 職員数の推移(知事部局/高知県立公立大学法人への派遣職員数を除く)

(注) R7の職員数は速報値

(単位:人)

	事務	技術	技能	計	対前年増減	増減率(%)
<b>R7</b>	1,804	1,608	10	3,422	4	0.1
R6	1,783	1,623	13	3,418	Δ3	△0.1
R5	1,787	1,620	14	3,421	6	0.2
R4	1,785	1,613	17	3,415	12	0.4
R3	1,765	1,617	21	3,403	22	0.7
R2	1,735	1,624	22	3,381	6	0.2
H31	1,727	1,625	23	3,375	1	0.0
H30	1,723	1,627	24	3,374	34	1.0
H29	1,694	1,618	28	3,340	33	1.0
H28	1,676	1,600	31	3,307	△ 15	△ 0.5
H27	1,684	1,601	37	3,322	Δ 11	△ 0.3
H26	1,678	1,616	39	3,333	△ 25	△ 0.7
H25	1,691	1,621	46	3,358	△ 34	△ 1.0
H24	1,714	1,617	61	3,392	△ 21	△ 0.6
H23	1,715	1,623	75	3,413	△ 16	△ 0.5



# 3 人材配置等

## (1) 人事異動の3つのポイント

ポイント1:部長級「施策を強力に前進させるための布陣」

・元気な未来創造戦略をはじめとした新たな基本政策の実行2年目の年であることから、経験 のあるポストへの配置により、施策の継続性を重視しつつ強力に前進を図る布陣とした。

## ポイント2:副部長級「未来につながる配置」

- ・積極的な異動を行い、将来にわたる活躍を視野に配置した。
  - ※令和6年度の政策調整会議メンバー16名のうち異動者12名。 (うち退職1名、部長級への昇格7名)

#### ポイント3:「幹部職員への女性職員の登用」

- ・本庁副部長に女性3名を登用。
  - 総合企画部副部長、総務部副部長、産業振興推進部副部長
- ・管理職に占める女性の割合は過去最高の20.2%に
- ・女性職員数も、1等級14名、2等級45名で、いずれも過去最多

## (2) その他の人材配置

・東日本大震災、令和2年7月豪雨及び能登半島地震に係る復旧・復興対策への支援要請に 応えるため、任期付職員1名を含む5名の職員を派遣。

派遣先:福島県富岡町、熊本県人吉市、石川県、石川県輪島市

## (3) 人材配置に当たっての留意点

## ①柔軟な職員配置と登用

- ・人材配置に当たっては、適性や能力、意欲に応じた適材適所の配置を進める中で、 昨年 同様、若手職員をいわゆるポスト職に積極的に登用し、組織活性化と次世代育成を促進。
- ・若手職員の幹部ポストへの登用状況

50歳代前半での副部長級への昇任人数 5人(R6:10人、R5:1人、R4:3人、R3:9人) 40歳代での課長級への昇任人数 8人(R6:10人、R5:9人、R4:5人、R3:7人)

#### ②女性職員の積極的な登用と配置

- ・適材適所の人事配置を基本としながら、時代の要請にあった県の政策の立案や事業を推進していく上で、職員の能力が最大限に発揮されるよう、引き続き力のある女性職員を積極的に 登用。
- ・特に今回は、課長級、課長補佐級の女性職員を積極的に上位の職に登用。 (課長級から副部長級への昇任2名、課長補佐級等から課長級への昇任10名)
- ・チーフ級のいわゆるポスト職にも女性職員を登用し、将来的に管理職を担うための力を蓄積。
  - ○知事部局における管理職に占める女性の割合20.2%(R6:19.7%、R5:17.9%、R4:14.6%)※知事部局の1等級の女性職員は14人で、過去最多。(R6:13人、R5:11人、R4:7人)
  - ○知事部局におけるポスト職に占める女性の割合 31.0% (R6:29.7%、R5:29.5%、R4:28.0%)
  - ○知事部局職員のうち、女性職員の占める割合 38.3% (R6:37.4%、R5:36.9%、R4:35.6%)

## ③人材育成の観点等からの配置

- ・国(省庁)、香川県、愛媛県ほか他県、民間企業などへの派遣研修
- ・市町村との積極的な職員交流
- ・東日本大震災、令和2年7月豪雨及び能登半島地震に係る復旧・復興対策への職員派遣(再掲)

## 【参考】 国、他県、市町村交流、民間への職員派遣等

(単位:人)

	R6	R7	備考(R7の主な内訳)
国への派遣職員数(割愛)	12	12	内閣官房、総務省3、厚生労働省、農林 水産省、デジタル庁、消防庁、水産庁2、 四国運輸局、四国地方整備局
国への派遣職員数(研修)	7	8	内閣官房、内閣府、厚生労働省、消費者 庁、文化庁、林野庁、観光庁、気象庁
民間等への派遣職員数	9	10	東京海上日動、トヨタ自動車、日本航空、 地域活性化センター、地方公共団体情報 システム機構、日本国際博覧会協会2、 四国ツーリズム創造機構、自治体国際化 協会、地方税共同機構
他県への派遣職員数	5	5	山口県、香川県2、愛媛県2
市町村への交流派遣職員数	23	26	18団体(26人には、割愛の副市町村長 5人を含む)
災害(東日本大震災、能登半島地 震及び令和2年7月豪雨等)派遣 職員数(※)	5	5	福島県富岡町、熊本県人吉市、石川県2、石川県輪島市
派遣職員数 合計	61	66	
国からの割愛職員数(幹部)	8	8	部長級2、副部長級3、課長級3
民間からの派遣受け入れ職員数	1	1	日本航空
他県からの派遣受け入れ職員数	6	6	山口県、徳島県、香川県2、愛媛県2
市町村からの交流受け入れ職員数	24	24	17団体
受け入れ職員数の合計	39	39	

<sup>※</sup> 災害派遣職員数 (R7) には、任期付職員1人を含む。

(任期付職員の派遣状況 H28:4人、H29:7人、H30:7人、H31:7人、R2:7人、R3:5人 R4:2人、R5:2人、R6:1人、R7:1人)